

# 2021年度・第1回 電気情報系学科同窓会「湖鳥会」理事会資料

日時 2021年5月15日(土) 午後2時～5時

場所 Web-Meeting 及び書面審議(事前に回答)

(次第)

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

第1号議案                      2020年度    理事会議事録

第2号議案                      2020年度    事業報告

第3号議案                      2020年度    決算報告・監査報告

第4号議案                      2021年度    活動方針

第5号議案                      2021年度    事業計画

第6号議案                      2021年度    予算(案)

4. その他

5. 閉会

令和2(2020)年12月12日(土)

令和2(2020)年度・第1回・鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会「湖鳥会」理事会・議事録(案)

文責 吉村宏樹・岸田 悟

日 時：令和2(2020)年12月12日(土) 15:00-17:00

場 所：Web会議，鳥取大学地域学部4010室(4階・岸田悟・特任教授室)

参加者：吉田和行(会長)，川上孝志，岡墻氏，笹岡直人(幹事)，笹間俊彦(幹事)，吉村宏樹(幹事)，岸田 悟

Web参加：小林誠一郎，大賀昌二，川端哲男，山根大作

欠席連絡：豆田順一，西浦順一(幹事)，立花慶治，吉田清春，加納尚久(幹事)，吉田幹也，山下政美，有岡正登(幹事)，奥田和基，三木公保，松岡良明，松本昭夫，清水恵，大木誠 (順不同・敬称略) \*  
連絡なしは記名しないこと

#### 審議事項

##### 1. 2019年度第1回湖鳥会理事会議事録

- ・資料に基づき説明が行われ，2019年度・第1回理事会の議事録は承認された。

##### 2. 2019年度第1回湖鳥会総会議事録

- ・資料に基づき説明が行われ，2019年度・第1回総会の議事録は承認された。

##### 3. 2019年度活動報告(理事会2019-1-3)

- ・資料に基づき説明が行われ，2019年度・活動報告は承認された。
- ・2019年度・学部卒業生入会数 72名(入会率：60.5%)
- ・総会の開催(日時：2019年8月24日，場所：ホテルモナーク，参加者数：総会24名・懇親会34名，収入272千円，支出634千円)
- ・東京・学科同窓会の開催(別紙参照)
- ・国際会議のための海外渡航費用助成は以下の2名に対して行われた。
  - 岡野圭佑氏(持続性社会創成科学研究科工学専攻 博士後期課程2年)
  - 松久昇平氏(持続性社会創成科学研究科工学専攻 博士後期課程1年)

##### 4. 2019年度会計報告及び監査報告

- ・資料に基づき説明が行われ，2019年度の決算報告並びに会計監査は承認された。

##### 5. 会則変更について

- ・資料に基づき説明がなされ，今後，学科同窓会の規模と実情を考慮して修正することを含めて承認された。

- ・第8条(役員を選出と任期)において「理事」を「正会員」、第8条第2項「総会」を「理事会」などと修正する。

- ・第10条第5項を削除する。

#### 6. 湖鳥会理事について

- ・理事として山根大作氏を選出した。

- ・理事の退任(交代という文言ではどうか等)に対しては継続審議とする。また、理事に学科同窓会の活性化に関して意見を求める。

- ・理事の適正な人数に関する議論が行われたが、結論されなかった。来年度までに執行部は理事会に会則の改正案を作成・提案することとした。

#### 7. 会長、副会長の選出

- ・2021年度役員として会長は山根大作氏、副会長は大賀昌二氏を選出した。

#### 8. 学費援助奨学金の新設について

- ・給付型学費援助奨学金制度は承認された。なお、運用については詳細を詰めることとした。

#### 9. 工学部同窓会との名簿相互利用覚書について

- ・資料に基づき説明が行われ、下記の条件付きであるが承認された。

- ・「鳥取大学工学部同窓会と鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会(湖鳥会)における個人情報の相互利用に関する覚書(案)」第6条の「最小限の幹事等」について、アクセス権を持つ対象が不明確であるため「幹事」に修正すること、並びにアクセス権を持つ管理者を細則で管理することを工学部同窓会に求めることが決定された。

#### 10. 2020年度活動予定および予算案

- ・2020年度活動予定および予算案は承認された。

- ・活動としてホームページコンテンツの充実やWeb会議の開催を実施する。前者は、理事(卒業生)からのエール、HP記事の充実、新会長・挨拶や2019年度までの会長や副会長の記事等を掲載することとした。

令和2(2020)年度・事業報告

1. 入会手続き

・2020年度卒業生：25名（入会率：22%，全卒業生116名）

\*新型コロナウイルス感染による工学部内立ち入り禁止措置に関連して、  
銀行振り込みによる入会金支払いとしたために、入会が減少した。

・2019年度卒業生：1名

2. 電気情報系学科同窓会「湖鳥会」のホームページ(学外・設置)  
の更新

3. 第1回理事会(会則改正後)の開催

Web会議(初)で開催，会議の通知はE-mailと官製はがき

4. その他

## 第4号議案

## 2021年度 活動方針及び事業計画

### 1. 活動方針

湖鳥会（鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会）は、会員および学生の本会の存在や活動内容に関する認知度の低さによりその存在意義すらも問われかねない状況にあり、ひいては鳥取大学ブランディングの阻害要因となっている可能性も懸念される。鳥取大学のブランディングは、大学（教員）と学生および同窓会の相乗効果で効果的に醸成されるべきであり、そのためにも最初にやるべきことは、本会自身の活性化を図るべく今後の活動方針を立案し計画・実行する。

### 2. 事業計画

事業計画を実施するためには、同窓会組織の体制を下記のようにする。理事及び幹事の中からタスクフォース(TF)（2回/月）・メンバーを選出して理事会（1回/2～3カ月）に提案する活動計画を策定し、承認を得た後に実施する。

#### 2.1 湖鳥会のあるべき姿とは

下表の会則・第2条にあるように、「楽しい同窓会・面白い同窓会・参加してみたい同窓会・人に役立つ同窓会」

\*目的

#### 湖鳥会会則第2条

本会は、会員相互親睦を図り、その向上に資し、鳥取大学工学部電気情報系学科との連携を密にし、その発展を図ることを目的とする。

#### 2.2 目標

湖鳥会の活性化・コミュニケーションアップ（具体的な数値目標はあえて設定せず）

手段：デジタル技術を活用し湖鳥会のホームページの改善や会員向けコミュニケーションツールとしてメルマガ、SNS（Facebook etc）などを多用し、湖鳥会関係者相互のコミュニケーションの活性化を図る。

#### 2.3 現状問題点について

図1に要因分析結果と表1に従来の湖鳥会活動概要を示す。

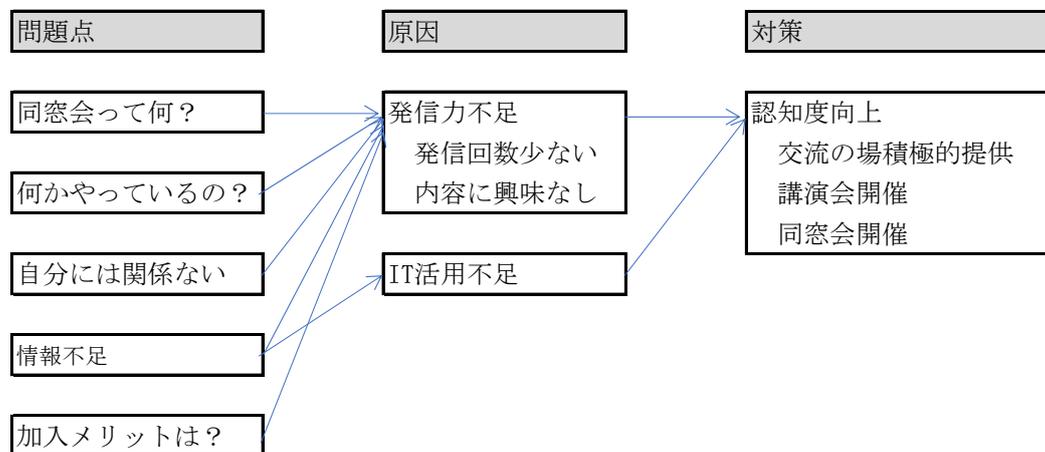


図1 要因分析図

表1 現在の湖鳥会活動概要

※現在の活動概要（参考）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・湖鳥会会報発行（定期：年単位）</li> <li>・理事会開催（定期と適時）</li> <li>・国際会議のための海外渡航助成制度（適時）</li> <li>・困窮学生のための助成制度（適時）</li> </ul> など

最初に取り組むべき課題は、同窓会関係者（大学、学生、同窓会員）への同窓会の認知度改善である。

## 2.4 基本方策

- A) IT とデジタル技術活用による情報発信や情報交換の機会増大
- B) 教員と学生および会員の協力による各種イベント開催、地域湖鳥会による会員交流
- C) 会員自身の豊かな人間力の醸成

## 3. 対策

### 3.1 広報活動

- ① 会員向けメルマガ・ホームページリニューアルや定期発行（コラム、特集記事）
- ② 情報交換・・・会員向け SNS やチャット窓口を開設し、いつでも誰でもアクセス可能とする
- ③ アンケート・・・同窓会活動の継続的改善のため、定期的に会員の意見や要望などをヒヤリングする

### 3.2 イベント活動（講演会開催 by 卒業生／教員／学生）

- ・経験豊かな OB 自身の思いや体験談・メッセージ
- ・教員（研究者／教育者）自身の思いや体験談・メッセージ
- ・多数の参加を促すため実会場だけでなく Webinar 等も併用
- ・開催後の資料公開など湖鳥会ホームページに掲載

#### ■イベントテーマ（案）

- A) 個人の貴重な体験談（企業人、海外経験、人間力など）
  - B) 事業活動の体験談（マーケティング、開発、生産、保守運用など）
- など

### 3.3 同窓会開催（毎年）

従来の同窓会に加え、フットワークの良さを重視した地域同窓会の設立を提案する。

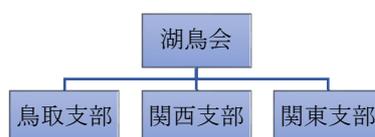


図2 湖鳥会構成図（案）

※開催様式は実開催、リモート開催または併用開催とする。

## 4. 2021年度の活動

### 4.1 タスクフォース（TF）とは

TFとは、湖鳥会のあるべき姿実現の対策立案と実行を行う実働部隊であり、対策完了後に解散する臨時のプロジェクトチームである。

#### 4.2 TFの目標

前記4.2の対策案に示された目標達成の3方策①広報活動、②イベント活動、③同窓会開催活動の中から、実現容易性や同窓会活性化の効果を考慮し対策をさらに選別して実施する。

#### 4.3 TF体制図

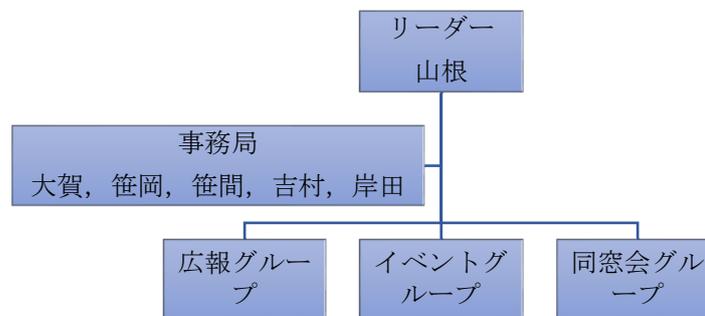


図3 TF体制

図3の体制図に示すように、各グループ活動を実行するには明らかにメンバー不足であり、本件の趣旨に共感いただき活動に関する各種アイデアをお持ちの理事会メンバー（理事会メンバー以外も歓迎）各位の参加協力をお願いします。ご参加いただけるメンバーは、事務局へご連絡いただければ幸いです。

#### 4.4 TF活動予算

現時点で、具体的な活動内容が未定であり具体的な金額を計上するには時期尚早であるが、考えられる支出項目は下記の通り。

- 1) IT関連設備（ハード、ソフト）の購入費用
- 2) システム開発費用（含アウトソーシング）
- 3) 各種情報配信業務や結果回収業務費用（含アウトソーシング）  
など

但し、本活動予算に関して、現在の繰越金・年間収入と従来の年間支出とのバランスを考慮し、本会運営に支障のない範囲で本件に関わる支出費用を決定する予定ですので、TFにご一任をお願いします。

## 第5号議案

## 2021年度 事業計画

【事業計画】 \*会議はいずれも Google-Meeting を使用する

1. 複数回の理事会の開催
2. タスクフォースによる活動計画

2021年度 TF 活動スケジュール表 (概略)

	項目	1Q (4-6)	2Q (7-9)	3Q (10-12)	4Q (1-3)
1	TF 体制構築 (TF メンバー募集)				
2	1st 対策項目選定 ⇒対策費用チェック				
3	システム開発				
4	実証実験				
5	本格運用の判定 ⇒OK なら本格運用				
6	2nd 対策活動 (未定)				

※▼印は理事会レビューイベントとする予定。

3. その他